

様子をくわしく伝えます～茶摘みエピソード1～

茶摘みをした午後、そのことを作文に書きました。今、国語では、段落の中心を考えて読むという学習をしています。3年生では、中心を考えて読む、聞く、そして、書くということが国語のめあての一つになります。これから、日記など宿題でも取り組むことがあると思いますが、中心を考えて書くことができているか、読む際の参考にしていただければと思います。

今回から数回にわたって、茶摘みの作文を紹介します。まずは、HTさん、THさんの作文です。HTさんは、紙をもらおうとすぐ、黙々と鉛筆をすすめ、「もう一枚書く。」「もう一枚。」と、最後には、4枚目に到達していました。楽しさだけでなく、茶摘みや見学を通して、たくさん学んできたこと分かる作文になっています。書いたものを少し短くしてありますが、お楽しみ下さい。

☆さいしょは、どうやってつむのか分からなかったけど、TKさんのおばあちゃんに、「一しん二葉」という言葉を教わりました。「一しん二葉」とは、葉っぱの真ん中に小さいめがあって、その両はしに、きれいな黄緑色の葉っぱがついているのが「一しん二葉」です。さわちゃんに、「いっしょにお茶つもう。」と、言ったら、「いいよ。」と、言ってくれました。よく見ると、何まいかの葉っぱが、何かの虫に食べられていました。「この葉っぱ何の虫に食べられたのかな。」と、言うとおばあちゃんが、「しゃくとり虫に食べられたんだよ。」と、教えてくれました。その後、お茶をつんでたらくもがたくさんいました。

「なんでもくもがたくさんいるの。」と、聞きました。そしたら、おばあちゃんが、「それは、お茶の葉を食べるしゃくとり虫を食べるくもだよ。」と、教えてくれました。次に手ばさみを使って、お茶をかってみました。手ばさみは、手を切りそうでこわかったけど、「上手、先生よりうまい。」と、みんなが言ってくれたのでわたしは、とてもうれしかったです。その後、お茶の葉を食べました。お茶の葉は、少し、苦かったけど、おじいちゃんが、「お茶は、昔、薬として使われていたんだよ。」「だから、今でもお茶は、体にいいんだよ。」と、教えてくれました。その次に、乗用も見ました。友だちは、乗っていたけど、私は、乗りませんでした。けど、赤色ですごくきれいな乗用でした。その後、とてもおいしいお茶をのみました。わたしは、おいしすぎて、「とてもおいしい、こんなお茶、はじめてのんだかも。」と、思わず言ってしまいました。その後、工場にも入らしてもらいました。工場の中には、数えられないくらいのきかいがありました。最初は、わたしたちが、つんだお茶をきかいに入れるところからはじまりました。みんなで何回もモップみたいなので、あなの所にたくさんのりょうのお茶の葉を入れました。みんなで交代番こでモップをゆずりあいました。(HTさん)

☆今日、富田園に行って来ました。はじめに、お茶つみをしました。TKさんのおばあちゃんが、「一しん二葉でつんでね。」と、教えてくれました。一しん二葉というのは、一つのしんと、二つの葉のことです。手ばさみでもかりました。切るのがむずかしかったです。でも、思ったより上手に切れました。わたしが一番楽しかったのは、はじめて乗用に乗

たことです。はじめて乗ったので、ドキドキしたけど、楽しかったです。おじいちゃんに、今日みんながとった葉はどれくらいのお金になるのかと聞いたら「だいたい 700 円くらいだよ。」と、教えてくれました。また、おばあちゃんに、「TKさんの家でどれくらいのお茶を作っているの。」と、聞いたら、「東京ドーム一つ分とちょっとだよ。」と、教えてくれました。そしたら、えつこ先生が、「それはすごいいっぱいだね。」と、教えてくれました。

お茶工場に入りました。いろいろなきかいがありました。TKさんのおじいちゃんに、「だいたい、どれくらいでお茶っ葉ができるの。」と、聞いてみたら、「だいたい4時間から4時間半くらいだよ。」と、教えてくれました。すごく時間がかかると、分かりました。お茶っ葉のごみもさわりました。けずりかすみたいでした。はじめは、お茶っ葉だと思ったけど、本当は、ごみでした。お茶を食べてみました。一番茶の葉と、2番茶の葉がありました。一番茶の葉の方がおいしかったです。(THさん)

